

2019年10月29日

### 先週の回顧

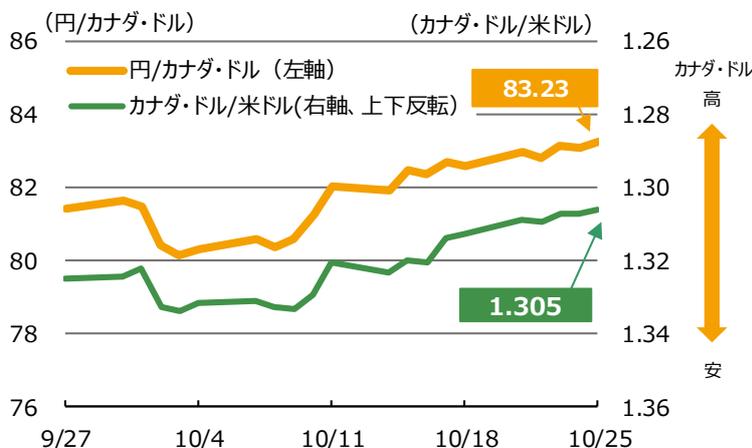
カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りも小幅に上昇しました。

カナダの金利は、米中通商協議は第一段階の合意に向けて順調に進展しているとの見方から投資家のリスク選好姿勢が強まり、小幅に上昇しました。カナダ・ドルは、原油価格が上昇したことなどを背景に、対円で上昇しました。

経済指標では、小売売上高、卸売上高などが発表になっており、市場予想を下回る結果になったものの、市場への影響は限定的でした。

### カナダ・ドル 為替推移

(2019年9月27日～2019年10月25日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 今週の見通し

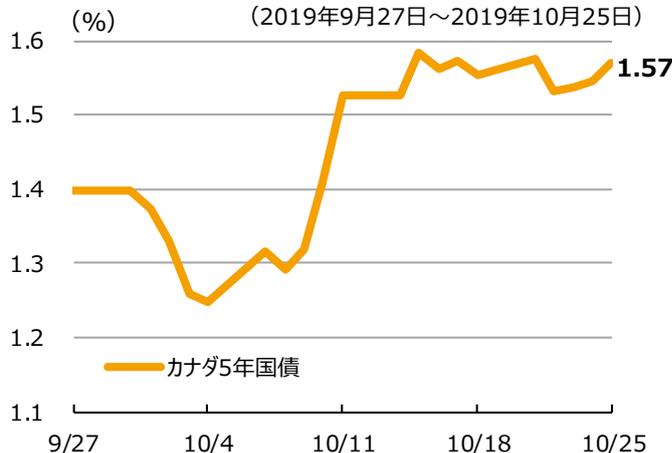
今週、カナダではGDP（国内総生産）などの経済指標の発表が予定されています。また、金融政策決定会合の開催が予定されており、市場では政策金利の据え置きが予想されています。

米国では雇用統計の発表に加え、FOMC（米連邦公開市場委員会）の開催が予定されており、市場では0.25%ポイントの利下げ予想が優勢になっています。米中通商協議に進展が見られるなかで、どのような声明文を発表するのか注目が集まります。

足元では、米中通商協議の進展や英国のEU（欧州連合）離脱期限の延長を背景に、投資家のリスク選好姿勢が強まっているため、カナダの金利、通貨の上昇圧力になることが予想されます。

### カナダ 金利推移

(2019年9月27日～2019年10月25日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。